

# 東北復興日記



158

旅行会社をつくらう。そう思ったのは二〇〇九年のことでした。座学の講座で人材教育を行っていた私が〇八年、関西で目の当たりにしたのは、座学だけではなくフィールドワークを通して地域を学ぶ講座でした。生産者やモノづくり技術者などの生きた話を聞くことで、参加者は知識だけでなく感動までも得る



ゆいネット／たびむすび  
代表取締役

稲葉雅子さん



## 地域に学ぶ被災地ツアー

ことができる内容でした。宮城でも「地域に学ぶ」講座を開催したいと、宮城大学宮原研究室の協力をいただき、基礎知識を学ぶ講義とフィールドワークを実施、南三陸、東松島など宮城県内各地に赴きました。

以降、関西や首都圏、東北

事業として確立するために旅行会社を設立する準備を始めていた一年、東日本大震災が発生。「旅行なんてとんでもない」という時期であり、お世話になった南三陸も東松島も被害は甚大でした。旅行会社設立を諦めていたとき「今こそ設立すべきだ」と私を叱ってくれた方がいまし

「被災地に人を連れていく、その地のファンをつくる、それは旅行会社としてできる大きな復興支援」。自身にそう言い聞かせ、同年六月に「株式会社たびむすび」を設立しました。

を聞きたい」という団体様には、陸前高田でみそ・しょうゆの醸造をする八木澤商店の河野通洋社長のお話や、気仙沼でサンマの加工品を製造販売する齊吉商店の齊藤純夫社長や和枝専務のお話を聞いて、その土地の食事をしていただく提案をします。

被災地で前を向き、がんばる方のお話は参加者の皆さんの心に響きます。今後、お客さまと各被災地の皆さんと結び役割を担っていきたく思っています。

この連載は、東京のNPO法人JKSKと、被災地の女性たちが協力して復興に取り組む「結核プロジェクト」の協力を得て、掲載しています。